

平成19年度に実施された事業の結果報告及び今後の方向性(概要)

※本ページは各事務事業の概要紹介と19年度の報告を目的としています。評価の詳細については次ページをご覧ください。

事業名	消防車両更新整備事業	所管	消防本部 警防課
			TEL 2929-9122

事業の目的 (何の為に 行うか)	複雑多岐にわたる災害に対処できる防災体制を確立するため、更新整備計画に沿った消防車両の更新を行うことを目的とする。
------------------------	---

対象 (誰を、何を 対象としてい るか)	消防署車両(救急車除く)及び消防団車両	対象とした数	57	台
		実際に 利用した数	5	台

活動の内容 (何を したか)	<p><具体的な内容> 所沢市消防機械器具管理規程に基づき、各年度で更新を必要とする消防車両の更新整備を図る。</p> <p><実施方法> 1 所沢市機械器具管理規程事務処理要綱第7条に示す各車両の更新年数に基づき、整備計画を立てる。 2 更新車両の仕様書を作成する。 3 防衛庁等の補助制度を利用し、消防車両の導入を図る。</p>								
	活動実績	項目名	更新整備実施台数	5	項目名		項目名		単位
			-----	-----				-----	
			単位	台				単位	

経費 (どれだけか かったか)	当初予算額(千円)	決算額(千円)	事業費合計(千円) ※人件費・公債費を含む	市民一人当たり単価(円)
	30,765	26,867	33,443	98.6

成果 (結果として どうなった か)	成果指標名	説明 (計算方法等)	目標値	実績	達成率			
	更新整備数	更新整備数/更新整備対象数	5	5	100.0			
			-----	-----	-----			
			単位	台	単位	台	単位	%

今後の 方向性 (所管の意 見)	総合 評価	* 事業の継続 ⇒ 拡充 縮小 統合 * 改善・効率化 改善余地なし その他 []				
		終了 ⇒ 事業完了 終了 休止				
	予算	現状どおり * 増額 減額 終了				

今後の 方向性 (二次評価の 意見)	二次評価実施の有無 * 有り⇒下記評価へ 無し⇒終了					
	総合 評価	拡充 縮小 統合 * 改善・効率化 改善余地なし その他 [] 終了				
	予算	現状どおり * 増額 減額 終了				

平成 20 年度事務事業評価表(一般用)

①事務事業名		担当 部課	部課コード	100300	TEL	2929-9122
事業コード	消防車両更新整備事業					
100301						
開始年度		昭和 63 年度	—	終了年度	平成 年度	

②事業の概要	事業の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 法定受託+附加			根拠法令
	分野別計画・指針	所沢市総合計画			消防組織法
	関連・類似事業	消防施設・整備に係る補助金等事務			所沢市消防機械器具管理規程
	総合計画の体系	政策	第6章 みんなが安心して暮らせるゆとりあるまち	施策	1 節 消防・救急 中 柱 1 消防力の充実 小 柱 (3) 消防車両・装備の充実・強化
	行政改革大綱における行動計画への位置づけ	・H19市民意識調査における施策の順位…43施策中 13 位 ・実施計画における位置づけ… H19 ○ H20 ○			

③事業の内容	目的(何のために行か、具体的に)	複雑多岐にわたる災害に対処できる防災体制を確立するため、更新整備計画に沿った消防車両の更新を行うことを目的とする。						
	対象(誰を、何を対象としているのか)	利用数の考え方 各年度の更新整備台数						
	対象数	単位	平成 18 年度	58	台	平成 19 年度	57	台
	利用数	単位	平成 18 年度	5	台	平成 19 年度	5	台
	事業の具体的な内容及び実施方法	<具体的な内容> 所沢市消防機械器具管理規程に基づき、各年度で更新を必要とする消防車両の更新整備を図る。 <実施方法> 1 所沢市機械器具管理規程事務処理要綱第7条に示す各車両の更新年数に基づき、整備計画を立てる。 2 更新車両の仕様書を作成する。 3 防衛庁等の補助制度を利用し、消防車両の導入を図る。						

④前年評価と改善点	平成19年度事務事業評価結果(平成20年度の方向性)	◀ 最終評価 <input checked="" type="checkbox"/> 一次評価 <input type="checkbox"/> 二次評価 ▶				
	総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の継続 ⇒ (<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 ()) <input type="checkbox"/> 終了 ⇒ (<input type="checkbox"/> 事業完了 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 休止)				
	予算	<input type="checkbox"/> 現状どおり <input checked="" type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了				

平成19年度中に改善した点
車両更新年数等について引き続き見直しを検討した。

⑤経費	《会計種別》	一般会計	平成 18 年度 (千円)	平成 19 年度 (千円)	平成 20 年度 (千円)
	当初予算		90,210	30,765	115,641
	決 算 (見込み含む)		87,402	26,867	
	(嘱託職員) (臨時職員)	(人) (人)	(人) (人)		
	正規職員人件費	0.39 人	3,588	0.70 人	6,576
	公債費				
	事業費合計		90,990	33,443	
	財源内訳	一般財源	80,488	33,443	115,641
	国・県支出金	10,502			
	受益者負担金				
市債					
その他					
市民一人当たり(単位:円)		269.3	98.6		
利用数一単位あたり(単位:円)		18,198,000.0	6,688,560.0		

※「財源内訳」について平成20年度のみ、当初予算の内訳となっています。

⑥指標	項目名	計算方法	単位	H 18	H 19	H20見込み	将来目標
	活動実績	更新整備実施台数	各年度に更新整備した台数	台	5	5	4
	成果分析	更新整備数	更新整備数/更新整備対象数	台	目標値 5 実績 5	5	4
	%	達成率		100.0	100.0		実績値の拡大を図る1 実績値の縮小を図る2 1

⑦一次評価	評価項目	現状評価	評価項目	現状評価
	対象設定	<input type="checkbox"/> 対象を絞る <input type="checkbox"/> 対象を拡大する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの必要なし	実施主体	現在の実施主体 市 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
	他事業との整理・統合	<input type="checkbox"/> 統合する <input type="checkbox"/> 連携する <input type="checkbox"/> 類似事業がない <input checked="" type="checkbox"/> 統合等必要なし	受益と負担の関係	受益者負担の有無 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
	明らかとなった課題	災害の多様化、大規模化や社会情勢の変化と消防任務の拡大等に伴い、今後は新たな特殊車両も必要である。		
	評価日	平成20年度5月12日	記入者職氏名	警防課長 荻野 透

⑧二次評価	事後評価	平成21年度における事業の方向性				
	事前評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 () <input type="checkbox"/> 終了	優先度評価	<input type="checkbox"/> A:優先的に資源配分をするべきと評価する事務事業 <input checked="" type="checkbox"/> B:重要であり引き続き実施すべきと評価する事務事業 <input type="checkbox"/> C:現状での実施は見送るべきと評価する事務事業		
	評価理由	消防機械器具管理規定に基づくと共に、排気ガス規制への対応も含めて計画的に整備を進めているものであり「引き続き実施」と評価した。				

⑨個別計画における方向性	◎環境基本計画	本事業の左記計画における位置づけ… 無し	計画コード	
	◎次世代育成支援行動計画	本事業の左記計画における位置づけ… 無し	計画コード	
	基本目標			
	主要課題			